



SkyVisualEditor

V17.0 バージョンアップ リリースノート



最終更新日：2022年6月17日

- はじめに

リリースノートでは SkyVisualEditor の主要な新機能や既存機能の機能強化に関する概要情報を提供します。新機能、機能強化には既存環境に影響を与える可能性のあるものがあります。影響があるアップデートについては、**重要な更新** のマークをつけていますので、ご利用中の画面への影響について、十分にご検討いただけますようお願いいたします。尚、より詳細な情報については、リリース時に公開予定のヘルプサイトを参照ください。

※当リリースノートには、V16.1 の更新内容も含まれます。

ヘルプサイト：

SkyVisualEditor ポータル <https://doc.terrasky.com/display/SVEPP4JA/Home>

SkyVisualEditor VF <https://doc.terrasky.com/display/SVE4JA/Home>

SkyVisualEditor LC <https://doc.terrasky.com/display/SVELC4JA/Home>

- **目次**

- V17.0 機能追加	4
1. SkyVisualEditor LC 機能追加.....	4
1.1 Slack 連携機能の追加	4
2. SkyVisualEditor VF 機能追加.....	7
2.1 写真投稿および写真へのメモ書き機能を「手書き項目」で実現	7

- V17.0 機能追加

1. SkyVisualEditor LC 機能追加

SkyVisualEditor LC における機能追加は下記の通りです。

1.1 Slack 連携機能の追加

2022 年 5 月 12 日の V16.1 リリースにて、Slack 連携機能の提供を開始しました。

Slack 連携機能では、Salesforce 上に配置した専用コンポーネントを通して、Salesforce と Slack の連携を実現します。

本機能でできることは、以下の通りです。

- Salesforce のレコードに Slack のチャンネルを紐づけて表示
- Slack のチャンネルメッセージを、Salesforce の画面上にタイムライン形式で表示
- Salesforce 上から Slack のチャンネルにメッセージを投稿



図 1-1 レコードページに配置された Slack 連携機能のコンポーネント

Slack 連携機能の活用により、例えば営業社員は商談の情報を確認しながら、別部門の社員と Slack で対話して、商談成功に向けた施策を検討することができます。また、サポート担当者は、問い合わせ対応履歴（ケース）を確認しながら、顧客や担当部門と Slack で対話し、迅速に解決を図ることができます。

V17.0 では新たに下記の機能を追加し、Salesforce 上での Slack コミュニケーションがより便利になりました。

- 商談レコードの情報を Slack チャンネルに投稿
- メッセージの引用投稿



図 1-2 商談レコードの情報を Slack チャンネルに投稿



図 1-3 メッセージの引用投稿

2. SkyVisualEditor VF 機能追加

SkyVisualEditor VF における機能追加は下記の通りです。

2.1 写真投稿および写真へのメモ書き機能を「手書き項目」で実現

iPad や iPhone で撮影した写真を、Salesforce 上で手書き項目の背景画像に設定し、写真にメモ書きして保存できるようになりました。

担当者が作業現場で撮影した写真に作業情報を書き込み、作業エビデンスとして利用するなど、フィールドサービス業務などで便利に活用いただけます。



図 2-1 手書き項目で撮影した写真とメモ書きを保存

SkyVisualEditor V17.0 バージョンアップ リリースノート

SkyVisualEditor V17.0 バージョンアップ リリースノート

株式会社テラスカイ

URL : <https://www.terrasky.co.jp>

お問い合わせ : <https://terrasky.secure.force.com/ProductSupport>
